

東京農業大学稲花小学校 に合格する

富士チャイルドアカデミー 二子玉川教室室長 佐藤とも子

東京都23区内に59年ぶりに新設された、東京農業大学稲花小学校は、2019年4月、東京農大世田谷キャンパスの隣接地に開校。経堂駅から徒歩15分、小田急線や東急線沿線から通いやすい都心の立地に注目が集まりました。

「冒険心の育成」を教育理念とし、大学の専門的な設備や人的資源を活用した教育の実現、「稲花タイム」の体験型学習、「食育」の一環である給食、アフタースクールなどに期待は大きく、卒業後は、大学受験に強い進学校である東京農業大学第一高等学校の中等部（農大一中）への内部進学、外部の中学校受験という二つの選択肢があることも、人気が高い理由になっています。

開校初年度は、募集人数 男女各36名 計72名のところ、受験者数のべ865名、志願者倍率は男子13.1倍、女子10.9倍と、大変厳しい入試となりました。

【入試日程】

事前面接 10月9～26日の内、指定された日時。

入試前期 11月1、2、3日から一日

後期 11月10、11、12日から一日

前期・後期の併願可。

【入試内容】

①テーマ作文、②事前親子面接、③ペーパー、④行動観察、⑤運動

①テーマ作文（面接時の選考資料として事前に提出）

テーマ：「子どもを育てる上での小学校の役割と家庭の役割」「農大稲花小が求める子

ども及び保護者像」を理解の上、具体例を挙げながら、ご家庭の考えをお書きください。

（1,000～1,100字）

②事前親子面接

所要時間は約10分。校長先生または教頭先生、二か所で実施。

絵本「雑草のくらしーあき地の五年間ー」より、指定されたページを見ながら、3分間、家族で自由に話をするという課題。

受験者により季節の違いあり。

両親への質問には、「子どもが頑張っていること、叱ることについて、学校でトラブルがあった場合どうするか。」など。子どもには、「名前、年齢、園生活について、ほめられること叱られること、好きな虫はあるか、生き物のお世話をしたことがあるか。」など。父母の考えの一致、学校の方針にあっているか、なぜ新しい学校がよいと言えるかが問われ、日々の会話、しつけ、日常の親子関係がみられる内容でした。

③ペーパー

約8枚。鉛筆使用、訂正は2本線。出題内容は、連日ほぼ同じ、後期では一部問題で難化したものがありました。出題分野は、話の記憶、数（余りのある分割）、言語（音の数、しりとり）、常識（お正月に関するものを選ぶ内容で、しめ飾り、後期は節分に関するもので、いわしの頭やひいらぎまでを含む）、回転図形（2回転、後期は左右に1、2回転）、鏡図形（水面にうつった絵）、科学常識（原っぱにいる虫、後期は、土の中にできる野菜）など稲花らしい問題、図形系列

や迷路がありました。指示をよく聞き、落ち着いてミスなく最後まで集中することが大切です。

④行動観察

10～12名、グループで相談して、パターンブロックで大きな形や絵を作り、片付ける。自己紹介（名前、グループにより、好きな動物、お菓子、飲み物などとその理由）を順に言う、内容でした。

自由遊びでは、ブロック、積み木、折り紙、お絵かき、ボール、けん玉、かるたなどがありました。人前での発表力、同年齢の仲間と一緒に協調性をもって集団活動ができるか、その様子がみられました。

⑤運動

模倣準備運動（ジャンプ、屈伸）、コーンを回るかけっこダッシュ、フープを使ったケ

ンパ、跳び箱、平均台、マットで前転2回。細かな指示があり、先生の指示通りに、また先生のお手本通りにサーキット的な流れで、基本的な動きができるかがみられました。

【東京農業大学稲花小学校に合格するためには】

初年度入試は、あらゆる分野から総合的に出題されたバランスのよい内容でした。いずれも難度はそう高くなく基本的なものでしたので、合格するためには、すべてにおいて大きなミスなく確実に得点すること、何より一期生として、新設校のめざす主旨を十分に理解、賛同し協力的な家庭、チャレンジ精神旺盛な子どもらしい子どもが選ばれたのではないかと思います。

今年度入試の総括、次年度の傾向などは、今後学校から発信される正しい情報を入手し、日々の生活を大切にして、万全の準備をすすめてまいりましょう。

浦和ルーテル学院小学校 に合格する

進学塾SOCRA&jr.

原 淳一 大熊 将吾

○浦和ルーテル学院小学校とは

浦和ルーテル学院小学校は1953年創立の伝統あるミッションスクールです。4年前にさいたま市浦和区美園に移転をし、最先端の設備を持つ学び舎となっています。2018年7月、青山学院大学と系属校協定を結びました。そして、2019年度受験者数の増大が起き、前年度の第1回の73名に対して、今年度は176名ですので、前年対比240%の伸び率です。2019年4月より青山学院大学系属校となります。今年は年度の途中で発表になったため、志願者の準備が間に合わないご家庭がいたと予想されます。来年度以降の受験方式や進学条件、新体制の確立に伴い、今後人気がますます上がるでしょう。今回の入試結果には、埼玉県でもっとも伝統がある私立小学校としてのこれまでの取り組み、2020年教育改革、東京23区内の大学定員厳格化がその一要因として反映されたと言えるでしょう。

○試験について

ルーテル小の受験形式として「一般」か「自己推薦」のいずれかを選ぶことができます。「自己推薦」においては知力テストの物差しとして、全国レベルでの模試(統一模試等)のスコアが得点率5割以上であることが課せられます。推薦入試は事前に「受験者面接」、一般試験と同日に「保護者面接」「運動テスト」「グループ行動観察」「国語と算数の授業」が行われます。

(1)知力テスト

知力テストは筆記形式(ペーパー)で行われるテストで、「書く」「話の記憶」「計算」「読む」「推理」「点図形」の6項目で評価されます。「書く」では、自分の名前をひらがなで書きます。鏡文字など幼児期に起こる間違いもチェックされます。「話の記憶」では、600~800字程度の物語を聞き、当てるはまる絵を選択する問題が出題されています。登場人物の行動、関係性、話の順序等が問われます。「計算」では、1から10までの数に関して、絵を用いて足したり引いたり数えたりする問題が出題されています。「読む」では、ひらがなの単語を読み取り、当てるはまる絵が出題されています。濁音や拗音についてもひらがなを読んで言葉を理解することが求められます。「推理」では、回転図形、規則性、重さの推理等が出題されています。「点図形」では、縦5横6のお手本の点図形を模写する問題が出題されています。

作問にあたっては、合格者平均が6割以上、6歳児相当の知識、学習能力の有無、入学後に一斉授業についていける姿勢・態度が身につけているか、ということを経験的な判断としています。制限時間については、各設問に対して「年齢相応の能力の幼児が解答に有する時間」を想定して設定されています。

(2)巧緻性テスト

画用紙、クーピーペン、はさみ、のりを使って、お手本とそっくりな作品を作る問題が出題されます。クーピーペンやはさみ、のりなどの用具は貸し出され、はさみは必要に応じて左利き用を選べます。画用紙に描かれた形をはさみで切る、形をつくる、のりで貼るといった巧緻性、指示通りに塗ることや自由絵画の力が評価されます。また、穴にひもを通して結ぶといった生活巧緻性も評価されます。スピードも要求されますので、時間を計って練習することが必要です。

(3)会話テスト

先生から子どもに向けて自分自身のことや、幼稚園や家庭内の出来事などが質問されます。質問されたことへの確かな受け答えができるか、話しているときの態度や落ち着きが評価されます。

(4)運動機能テスト

駆け足・ケンケン・バランス・ボール投げ上げ・キャッチ等が出題されたことがあります。学校生活を送る上で必要な身体能力を有すること、指示をよく聞き、的確な動きができること、意欲的に取り組めることが評価されます。また、指示に従って待機できることも評価の対象となります。呼ばれるときは名前ではなく、番号で呼ばれます。評価の支障となるような行為があれば注意の対象となるようです。目で、口で、手から待つ練習をしましょう。

(5)グループ行動観察

4~6名のグループで、ゲームや競争の要素がある課題に取り組みます。指示されたことを正しく理解して行動できるか、きまりを守っているか、友達と協力して課題に取り組めるかといったことが評価されます。盛り上がりすぎてルールを無視したり他者に迷惑をかけたりの行為は評価に影響するので注意しましょう。男女別、月齢別でのグループ分けについては、本年度は行われていないようです。

(6)保護者面接

「志願の動機、家庭環境」「教育観、躰の姿勢、子どもとの関わり方」「学院についての理解度、説明会出席の有無」「本人の健康、心身の状況、併願校、兄弟の在籍校」等が聞かれます。躰に対する姿勢や学院の教育方針の理解度や賛同についての質問がされています。

○合格への道

ルーテル学院の選抜方法は来年度に難易度が上がることを予想されます。開学以来一貫して学院の教育方針にのっとり、一人ひとりを大切に育ててきた学校です。出題意図として、子どもの資質を測る試験であることは変わらないと思います。しかし、難化することはこれまでの出題分野に限らず、国語算数分野の学習にとどまらず、元氣よく澁刺とした子どもが求められると思います。合格への道として、思いやりの心を持つことを常日頃から意識して、躰をするようにしましょう。

3歳~4歳児クラス

教具や具体物から原理や構造を実体験から感覚的に学ぶようにしましょう。論理的な解決方法を身につけるより、日常の手伝い、ブロック、折り紙などから経験的に左右弁別、前後感、道具の用途・名前を覚え、普段の生活に必要な挨拶やお約束を成長に合わせて少しずつ守るようにならせます。また、絵本を読むことや身近にあるおもちゃなどを数えることで、ひらがなや数字にも触れていくようにしましょう。

年中児クラス

積み木を数える、同じ図形を探す、図形を分割する、しりとりを10個続ける、理科や季節などの常識を覚える等は年中の段階で身につけたい基礎となります。これらのことを毎日のプリント等を通して行うことで、学習する習慣を身につけていきましょう。国語・算数分野を満

遍なくバランスよく学習することをお勧めします。点図形を通じて、丁寧さ、正確性、忠実性を学ぶことも始めましょう。巧緻性はお子さん本人のかっこよく作る、仕上げる、纏めようとする意識が向上させます。男の子は丁寧に、女の子は素早く行動させることを意識させましょう。

年長児クラス

ひらがなで自分の名前が書け、ひらがなを読んで素早く意味が理解できるようにしましょう。ペーパーは、同じ領域の違う出版社などの類型問題を多く演習させて下さい。所属しているお教室以外の模擬試験を受けると得点が下がってしまうお子様は、発問のされ方や問題の絵に戸惑っている場合があります。

行動観察では、競争の要素があるものが出題されているため、競い合いを楽しみながらみんなで仲良くすることを心がけましょう。一方で、お約束を常に意識し、その場にふさわしい行動をとるよう心がけましょう。

制作は、丁寧さとスピードを両立するようにしましょう。まずは全体の構成を優先し、そのあとで部分的に付け加えていくことで、限られた時間内での完成度を上げていきます。また、時間内に終わらせるために1つの制作に対して段階的に制限時間を設け、手際と丁寧さの両立に努めましょう。

運動は、体を大きく動かすこと、待つ姿勢を保つことを身に付けていきましょう。バランスを保つ運動は筋力の不足により出来ない場合も見受けられますので、少しずつ継続的に練習するよう心がけましょう。ミスをした場合、程度に応じてやり直しの指示を出すこともありますが、ミスも含めて評価されます。一度で成功できるように繰り返し練習するようにしましょう。

本試験対策

ルーテル小の本試験は、成長段階に応じた基礎基本を問

う問題です。第一志望者は頻出分野を中心に学習していくとよいと思います。お子さんの資質を伸ばすことは日々の対話にあると思います。問題の解き方を教えた通りにできないこともたくさんあります。まわりを見ればスイスイできている子がいると思いますが、時間はかかっても根気よく一緒に考えてあげて下さい。苦手な分野については、同じやり方を繰り返して違う結果（苦手克服）を求めても、結論はできるようにはなるかもしれないけれど得意にはならないということです。待つことも大事なことです。褒めて伸ばすことはご家庭では難しいと思いますので、肯定的なお声がけを心がけて下さい。

○浦和ルーテル学院小学校の魅力とは

生徒一人ひとりを大切に、クラス編成は少人数教育を実践しているということです。1クラス20～25人で、面倒見を大切に、先生と生徒の距離も近く、生徒の才能や長所に合わせた学びが実践されています。

英語教育や国際教育は学校創設時から実践されてきた内容です。国際交流やイベント、スピーチコンテストなどを通して、世界で活躍できる才能を育てています。

また、感謝や思いやりを育てる教育も魅力です。国内のみならず国際的な視野を持った奉仕活動を通してこれまでの学習を活用していきます。ただ学び、学力を高めるのみにとどまらず、特技や才能を人に役立て、感謝されることを通して真の自己実現や幸せを追求する教育は浦和ルーテル学院のもつ大きな特色といえるでしょう。

そして、ルーテル学院の入試制度は今後数年で劇的に変化すると推測します。なぜなら、現行の試験制度で200名を超える受験生が集まった場合に得点差がつかないと考えられるからです。しかし、特別な能力は必要ありませんし、成長に応じた基礎を測るテストであり続けることは変わりません。学院の求める児童像、教育理念などを基に、より具体的に再現した新しいテストが行なわれることを最後にご注意願いたいと思います。